

ノロウイルスの基本知識

ノロウイルスって何？

胃腸炎をおこす原因は、ノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、アデノウイルスなどさまざまですが、感染が広がりやすいのはノロウイルスです。

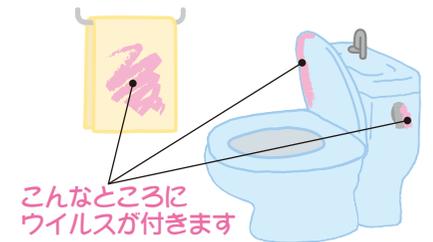
<ノロウイルスの特徴>

- 感染力が強く、少しのウイルス量でも感染します。
- 子どもだけでなく、大人もかかります。
(ロタやアデノは大人がかかっても症状が出ないことが多いようです)
- 症状はおう吐と下痢です。子どもはおう吐が多く、大人は下痢が多いようです。
- 潜伏期間は24～48時間です。
- 症状がおさまった後もしばらくウイルスが便に排泄されます。
- アルコール消毒は十分な効果がないと考えられていて、消毒は次亜塩素酸ナトリウム(商品名ハイター・ピューラックスなど)や85度以上の加熱でおこなうことが必要です。→消毒薬の使い方・作り方参照

感染防止のために

- 二枚貝等は中心部まで85～90度90秒以上の加熱をして食べる。
- おう吐や下痢の症状があれば、原因は分からなくても感染症予防の対応をおこなう(裏面の処理の仕方を参照)。
- 石鹸と流水で手洗いを正しく十分におこなう。タオルの共用はしない。
- おう吐や下痢で汚れた場所は0.1%次亜塩素酸ナトリウム液で10分浸す。
- 患者が触れる場所や集団で使う場所は0.02%次亜塩素酸ナトリウム液でふき取る。
- 汚物のついた衣類や食器などは、汚物を拭き取った後0.1%次亜塩素酸ナトリウム液に漬け込んだ後、洗浄する。消毒液を使えない布団やカーペットは廃棄が望ましいが、消毒する場合は奥まで85度以上になるよう加熱をする(業務用の布団乾燥機やスチームアイロン等を利用する)。
- 症状のある人・症状が治まって間もない人は、調理や配食・配膳の仕事に携わらない。

***手洗い方法・消毒方法など具体的なご質問は、保健所にお問い合わせください**



どうやって感染するの？

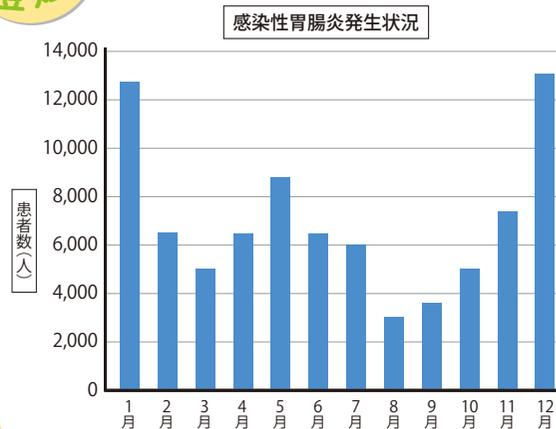
感染力が強いので、思いがけない形で感染することがあります。

<感染経路>

- ウイルスのついた食品を加熱不十分で食べる。
- 患者の排便の後の手や、おう吐物や便などを処理した人の手にウイルスが付き、手から食品・食器・おもちゃなどにウイルスが付いて口に入る。
- おう吐した際にウイルスが舞い上がり、近くにいた人に付着したり、吸い込んだりする。
- おう吐物や下痢の処理が不十分で生き残ったウイルスが、その場所を触った人に付いたり、乾燥して周囲の人が吸い込んだりする。

1 豆知識

最近では、1年を通じて発生しています。



出展：東京都感染症動向調査(平成26年) ※定点報告疾病週報告を各月ごとに加算

2 豆知識

消毒薬の使い方・作り方の目安

市販の塩素系消毒薬(商品名ハイター・ピューラックスなど)を適切に薄めて使います。商品によって塩素の濃度が違うので、よく確認します。希釈液はその都度作りますが、密閉で遮光の容器であれば、短期の保存ができます。保存する際は光に当たらない場所で栓を閉めて保管します。誤って口にしないよう注意してください。

- 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液
(患者のおう吐物や便などで汚れた物の消毒)
500mlペットボトルの水にペットボトルのキャップ2杯のハイター
- 0.02%次亜塩素酸ナトリウム液
(よく触れるドアノブ、蛇口、オモチャなどの消毒)
2リットルペットボトルの水にペットボトルのキャップ2杯のハイター

おう吐物の処理方法



事前に職員の動きを決めておきましょう。
おう吐の現場にいた人は、まずあわてず応援をよび

- おう吐処理をする人
- 吐いた利用者の世話をする人
- その他の利用者の世話をする人
- 窓を開ける人 など

チームで対応しましょう。

1 用意するもの

消毒薬などは利用者の手の届かないところにおくなど、事故防止にも注意!



必要な物品はまとめて各室・各フロアに準備します。身につけるものは使い捨てがよいでしょう。

2 処理する人の装備



- **マスク**
おう吐後は室内にウイルスが舞っています。
- **手袋**は
長めのフィットするものを
- **ガウン**は
長袖が便利です。
- できれば**足カバー（ビニール袋）**をつけましょう。おう吐物を踏んで、感染を広げることがあります。

注意

汚物を処理する人は、そこから感染する可能性が高いので、身を守ることが必要です。無防備な人は近寄らないように!!

3 おう吐物の処理（集めて捨てる）

①必ず窓を開ける



②外側から中心に

必要なものをそばに置いて処理開始。ウイルスを広げないように注意してすくい取るようにします。すくい取った紙は、すぐにゴミ袋に入れます。



③こすらず、すくい取るように

必要なものをそばに置いて処理開始。ウイルスを広げないように注意してすくい取るようにします。すくい取った紙は、すぐにゴミ袋に入れます。

5 処理後（脱衣・手洗い）

①足カバーをはずす



④手袋は表面についたウイルスがとびちらないように、表面を包み込むように裏返してはずします。



②身につけた物はウイルスで汚れています。素手で触らず、静かにはずしてゴミ袋にいれます。足カバーがなかったらクツの裏を塩素剤でふきます。



⑧処理した後は石けんで十分手を洗います。感染の可能性があるので48時間は体調に注意して!



⑦捨てるものをすべてゴミ袋に入れたら0.1%塩素系漂白剤をしみこむ程度にいれて消毒し袋の口をしぼる。（空気を押し出さないように）

4 床面の消毒

①やや広めにペーパータオルを置く



②ペーパータオルに塩素系漂白剤をふりかける。



④10分たったら消毒終了

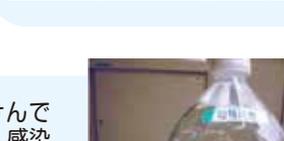


③おう吐物をふきとった後は、0.1%塩素系漂白剤で浸すように10分程度消毒します。

注意
カーペットなどは変色する場合があります。



⑤消毒のあとは水ぶきします。



消毒薬の作り方

【5~6%塩素系漂白剤使用】

★0.1%塩素液は
500mlペットボトルの水にキャップ2杯の塩素系漂白剤を入れる。

★0.02%塩素液は
2ℓペットボトルの水にキャップ2杯の塩素系漂白剤を入れる。

注意 塩素系漂白剤は、開栓後、少しずつ効果は減少します。冷暗所に保管し早めに使用しましょう。



流行期には、適切に希釈した塩素液を作っておくと便利です。保存時には容器を密閉・遮光し、早めに使い切りましょう。